

# 地域で触れ合いの輪を！「赤ちゃん交流」

熊本県立菊池支援学校

平成29年7月14日（金）に、高等部山鹿分教室において、山鹿市の「高校生と赤ちゃんふれあい交流事業」を活用し、山鹿市内在住の母親の方々に御協力いただき、赤ちゃんに触れ合う体験「赤ちゃん交流」を実施しました。

まず、事前学習として、家庭科の授業の中で、赤ちゃんの模型で抱っここの仕方やあやし方を練習しました。また、赤ちゃんに喜んでもらおうと手作りのおもちゃを作り、準備を重ねて触れ合い体験へと臨みました。

交流当日、交流が始まると、生徒たちの顔には緊張の色が見られました。しかし、時間が経つにつれて、笑顔が出はじめ、自分から積極的に関わりを持つという意識が徐々に芽生えてきました。交流の後半では、赤ちゃんと一緒にコミュニケーションを取る生徒が増え、赤ちゃんも生徒たちになつく姿が見られ、微笑ましく感じました。最後に、参加された母親の一人ひとりから、赤ちゃんの子育てについて語っていただき、「生まれてきてくれて良かった。」「生まれてきてくれてありがとう。」という声を聞いて、生徒たちは、改めて、「自分たちがこの世に生を受けた尊さ」や「命の重み」を感じることができました。

生徒の感想では「貴重な体験ができた。」「来年もぜひ実施してほしい。」などの声が多数あり、心豊かになる交流を終えることができました。このように、高等部山鹿分教室では、地域と学校が一体となり、協力して行う教育活動を展開することで、生徒たちの情操面をより豊かに育成していこうと考えています。そして、将来、自分も周りの人も大切にできる心豊かな人間へ成長できることを目指して、日々の教育活動に取り組んでいます。



おもちゃ作り



交流の様子



子育てエピソード発表